

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2002/12/21 Vol. 117 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX
45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 14 年第 4 回定例会報告 (2)

いつもお世話になっております。印西市議会(12月定例会)は、現在、一般質問、議案の審議を行い、20日の最終日を残して休会中です。今回から、2回にわたって12月議会での私の「住宅施策」についての一般質問をとりあげたいと思います。私の質問と執行部の答弁より、皆様とともに、印西市の住宅施策を考えていただく契機にしていただければと思います。

12/4(水曜日)に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

2. 住宅施策の基本理念について

近年の住民や住環境をとりまく環境は、社会、経済の変化のなか、大きく変わろうとしている。住宅は私達が生活を送るうえでの基盤であり、安心して住み続けていくために重要な要素であると考えます。印西市ではどのような住宅政策を掲げ、目指すべき将来像はどのようなものか。

(1) 少子・高齢社会の進行への対応についてどのような施策があるのか。

(回答/市長) 高齢社会の急速な進行に対応した住環境整備には、民間活力の活用と既存住宅の有効活用を図りつつ、高齢者向け住宅の効率的な供給を促進し、高齢者の住み良い環境整備を推進するため、平成13年4月に高齢者の居住の安定を確保に関する法律が制定されました。この法制度の利用促進のため、制度内容についての広報紙の掲載や市のホームページから関係機関とリンク設定をして、情報提供を行っているところでございます。

その他、介護保険制度の導入に伴い、平成12年度より市独自の事業として住宅改造費の助成制度を実施しております。今後も少子高齢社会の住環境整備につきましては、国、県、民間事業者の動向を見据えながら、その情報提供に努めてまいりたいと考えております。

ぐんじとしのりより >> 印西市では現在、高齢化率は県内の他の市町村と比べても低いほうだと聞いております。しかし、昨年9月の議会での一般質問で私は、「20年後、30年後はどうなる?今考えておかなくてはならないことがあるのでは?」と訴えました。平成34年には、高齢単身・夫婦世帯の増加も著しくなっており、高齢者や障害者に対応した住環境整備(バリアフリー化)が非常に重要となっているはずです。その為に「今、どのような施策があるのでしょうか?何をすべきなのでしょう?」この点を市に問いました。私の質問に対する執行部の答弁は、記載したとおりですが、残念ながら私の求める回答と異なっていましたので、以下のような再質問をさせていただきました。

<ぐんじとしのりから市への再質問>

市独自の事業として住宅改造費の助成制度を創設した。これは、介護保険の導入にともなうということでしたが、他には市の単独事業としては、「ない」のでしょうか?

高齢社会に対応した住まいづくりは市は全くかかわらないのでしょうか?

情報提供に努めることはわかります。市としてできることはこれだけでしょうか?

例えば、「民間住宅の居住継続支援」を行うとか、高齢者のみならず障害者に対しての住宅整備を行うのであれば、そういった発想はでてこないのでしょうか?

昨年9月の議会でお聞きしました。お年寄りだけで暮らす世帯も1000世帯を超えている。この1000世帯に対して、市は「住宅改造費の助成」以外の施策はどのようなものがあるのかお聞かせ下さい。

(回答/保健福祉部長) 高齢者が入居可能な民間賃貸住宅の情報提供ができるように、また、高齢者対応型の公団住宅の建設をすすめるように、高層階にお住まいの高齢者世帯の1階への住み替えができるように、事業者に要望をしていきたいと思っております。

ぐんじとしのりより >> 以下の事項を市に申し入れました。

自己保有ではなく、賃貸住宅にお住まいのお年寄りもいます。市では、高齢者の住宅・住環境をめぐる課題を早急に整理していただきたい。お年寄りが住みなれた地域社会の中で孤立することなく社会との接点を持ち、「生きがいをもって、自立した生活が営める住まいづくり」の実現を図っていただきたい。 ~ 将来的には、「地域高齢者住宅計画」を策定し、その中では、- バリアフリー化された住宅の確保、- 高齢者の居住を支援するしくみの整備(リバースモーゲージ等)をも盛りこむべきだと考えております。

(2) 市街地の住環境改善 についてどのような施策があるのか

(回答/市長) 市街地の住環境改善策につきましては、多様にわたりますが、道路、公園及び下水道などの公共施設の整備改善は継続的に行っているところでございます。また、将来にわたって住環境を保全するための手法の一つとして、身近な生活空間について地区の皆さんの話し合いにより、建物の建て方や街並みのルールなどを細かく定める「地区計画」を策定する事により、都市環境の形成を図っていこうと考えております。

ぐんじとしのりより >> 昨年の9月の質問では地域別の課題をお聞きしました。そのときには当時の総務部長から、「それぞれの地域特性にあった住まいづくり、ひいてはまちづくりを市民の皆さまとともにすすめていくことが肝要と考えている」という回答をいただいております。さて、その後、地域特性にあった住まいづくり、ひいてはまちづくりはどうなっているでしょうか？

今回の質問(上記 (2))を通して、私は以下の2点を明らかにしたいと思っておりました。

- どのように「まちづくりと連携して行く」のだろうか？
- どのように「環境と共生」していくのだろうか？

勿論、道路、公園及び下水道などの公共施設の整備改善は当然です。しかし、それらは必要最低限のことであり、ほんの一部です。豊かで生き生きとした住環境を実現するうえでは、市民の居住や活動を支え、これから発展すべき印西市の活力を生み出す基盤として、一定の質を備えた住宅市街地が形成されていることが必要だと考えます。その具体的な姿としては、「美しさや品格のある街並み」「地球環境への配慮がされた住宅・住環境」「災害に強く、安全な住環境・市街地の形成」が挙げられると考えます。

「住宅市街地の整備・再生」にあたっては総合的な計画を策定し、これに基づいて計画的、総合的に施策を展開する必要があります。そのためには土地利用の状況など市街地の特性に応じながら区分けをする必要があります。印西市ではできているのでしょうか？ 私が見る限り、残念ながらできていません。しっかり検討をすすめていただき、できるだけ早急に市民に公表、公開をし、市民と共に住環境改善を考えていくべきだと思います。

合併問題の意向調査(個人の自由意見の概要)には以下のような意見が見られます。

「合併による財政効果のみを考えるのではなく現在の問題点を再確認し、その解決策や都市像をもつことが必要であり、現在できることを最大限に努力することが先決である。」

私は「住宅施策」は福祉の問題であるとともに、都市計画の問題でもあると考えます。皆様はどう考えますか？

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き「住宅施策」についてのご報告をさせていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と一緒に考えていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。 ぐんじとしのり

さて、再質問ですが、例として印西市民 61000 のうち半数を占める集合住宅に住む人々への住環境改善、まちづくりということでお聞きしていきたいと思います。

集合住宅は防火や限られた土地の活用、省資源に適していると良好な住宅ストックとして維持することは、計画的な街づくりや資源の浪費を防ぐ点から、集合住宅という住まいの形態を大切に、行政が支援すべきではないかと私は考えます。従って以下の3点について、印西市の見解を求めます。

- 1) 耐震性診断や防災改修への支援をすべきでないか？
- 2) 大規模修繕やリフォームへの支援。
- 3) 公共的部分の固定資産税の減免。

(3) 消費者の需要に対応した住情報提供についてどのような施策があるのか

(回答/市長) 住宅建設資金利子補給事業、高齢者円滑入居賃貸住宅関係、県営住宅募集案内及び住宅相談などの住情報につきましては、市のホームページ、広報紙及び窓口において提供しております。また、マンション関係のセミナーや相談会など、県等が相談窓口になっているものにつきましてもその周知に努めております。

窓口で情報も提供する。ということですが、どこにいけばよいのでしょうか？市に、例えば分譲マンションの「大規模修繕」に関して相談にこられたら誰が対応しますか？融資について知りたい。高齢者のためのバリアフリーを行いたい。集会所の補修が必要なんだけどどうしたらよいか？他の団地の大規模修繕の事例を紹介して欲しい。等々私が市民の立場で相談に行く場合、どこの窓口で相談すればいいのでしょうか？また、出張所では、対応ができますか？？ お願いします。

また、私は昨年9月の議会で、「住宅課」の創設をすべきではないか。「住宅マスタープラン」を検討すべきではないか、申し上げました。当時の元橋助役は「将来的な問題として認識している。今後の研究課題としている。」このように答弁されています。将来っていつですか？今後っていつでしょう？

住宅の状況は昨年9月の質問で回答を得ています。これは今もお席に座っていらっしゃる大羽賀部長が答弁されている。

集合住宅は、約600棟、約30000人が居住している。このことを一つとっても、市の人口の約半分が集合住宅に住んでいる。千葉ニュータウンを抱えているこの印西がそれでいいのか？集合住宅に住む居住者への施策もあってしかるべきだ。

一例を申し上げましたが、元橋助役がおっしゃっていた、将来は今だし、今後も今です。今、考えなくてはならない。北総の中心都市印西として、住宅課を創設し、住宅マスタープランを市民にそして、近隣市町村に示して欲しいと思います。

- *** 情報提供について、市独自で考えているものはないのか？
- *** 住宅情報の提供について市民は市役所のどこに相談に行けばいいのか。
- *** 住宅情報の提供について出張所に対応できるのか？
- *** 「住宅課の創設について」

市町村合併の話も重要ですが、
デメリットの一つとして / 個人自由意見より
このような住民の私は

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と一緒に考えていきたいと思えます。よろしく願い申し上げます。 ぐんじとしのり